

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 7 号	氏名	齊藤 麻理子
学位審査委員	主査 小林 信之 副査 岩崎 琢也 副査 上平 憲 副査 大石 和徳		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は Dengue ウイルス感染症にともなう特徴的な症状である血小板減少の機序解明を目的としており、Dengue ウイルス感染症の病態を探る上で重要な意義をもっている。			
2 研究手法に関する評価 Dengue ウイルス感染は我が国では稀で輸入例が存在する程度であり、本研究はその流行地域の一つであるフィリピン・サンラザロ病院および St. Luke 医療センターと共同して行われたものである。Dengue ウイルス感染症は発症後速やかに病態が進行するため、現地において検体採取とその解析を行っている。血小板減少と PAIgM 量が Dengue 重症化のマーカーになりうる可能性を導いた研究手法は種々の制約のもとではあるが、妥当であると考えられる。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、血小板減少が Dengue ウイルス二次感染患者で観察され、さらに PAIgM が Dengue 出血熱に伴い増加することを明らかとした。PAIgM の増加が重症化の予知マーカーになるかは現時点では議論の別れるところであるが、今後 Dengue ウイルス二次感染の病態解明の一助になると期待される。			
以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査員は全員一致で博士（臨床薬学）の学位に値するものと判断した。			

(注) 報告番号は記入しないこと